

科目名	幼児と人間関係（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 前期	単位数	1
担当教員	吉田 亜矢		
内容および計画	<p>乳幼児は家族から離れ、幼稚園・保育所・認定こども園の場で初めて本格的な社会生活を送ることになる。人間関係とは、教師や保育士との関係、乳幼児同士の関係、家族・地域とのかかわり等多様である。これらの人間関係は乳幼児の発達にとって重要な意味を持ち、社会生活を送る上で欠かせないものであるといえる。</p> <p>本科目は、領域「人間関係」の背景や意義、「人間関係」における乳幼児の発達およびその発達を支える人的環境としての保育者の援助、幼稚園や保育所、認定こども園の役割を理解する。</p> <p>年齢の順を追って「人間関係」における様々な側面から乳幼児の発達およびその発達を支える人的環境としての保育者の援助に加え、人間関係を育む環境として保護者（家族）や地域における幼稚園や保育所、認定こども園の役割、人間関係における小学校教育への接続について学ぶ。</p>		
1	<p>オリエンテーション・領域「人間関係」とは・幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」と領域「人間関係」</p> <p>到達目標：領域「人間関係」ねらい・内容、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」と領域「人間関係」について理解する。</p>		
2	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助①0歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：0歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
3	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助②1歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：1歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
4	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助③2歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：2歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
5	<p>乳児期の人間関係を育む保育の事例検討(グループディスカッション)</p> <p>到達目標：乳児期の人間関係を育む保育の事例検討を行うことで多様な乳児期の発達の捉え方、保育者の援助の視点を広げる。</p>		
6	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助④3歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：3歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
7	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助⑤4歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：4歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
8	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助⑥5歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：5歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
9	<p>「人間関係」の発達と保育者の援助⑦就学前の5歳児の人との関わり</p> <p>到達目標：就学前の5歳児における「人間関係」の発達と保育者の援助を理解する。</p>		
10	<p>幼児期の人間関係を育む保育の事例検討：グループディスカッション</p> <p>到達目標：幼児期の人間関係を育む保育の事例検討を行うことで多様な幼児期の発達の捉え方、保育者の援助の視点を広げる。</p>		
11	<p>人間関係を育む環境①保護者と保育者の「人間関係」・園・家庭・地域で育む「人間関係」</p> <p>到達目標：人間関係を育む環境として、保護者と保育者の「人間関係」・園・家庭・地域で育む「人間関係」を理解する。</p>		
12	<p>人間関係を育む環境②特別な支援を必要とする子どもとの関わり・保育者同士の「人間関係」</p> <p>到達目標：人間関係を育む環境として、特別な支援を必要とする子どもや関わり、チーム保育の重要性を理解する。</p>		
13	<p>子どもの生きる力と道徳性・規範意識を培う保育 一 道徳・規範意識の芽生え一</p> <p>到達目標：子どもの生きる力と道徳・規範意識の芽生えを理解する。</p>		
14	<p>子どもの生きる力と道徳性・規範意識を培う保育 一 小学校道徳教育との接続一</p> <p>到達目標：乳幼児期の次にある児童期である小学校道徳教育の実際を知ることで幼児教育・保育と小学校教育との接続の重要性を理解する。</p>		
15	<p>小学校教育との接続を視野に入れた幼児教育・保育・保育・保育・保育で育む「人間関係」(グループディスカッション)</p> <p>到達目標：後期の指導法につなげるため、「幼児と人間関係」を振り返り、小学校教育との接続を視野に入れ</p>		

た幼児教育・保育について検討することができる。				
教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『幼稚園教育要領<平成 29 年告示>』	文部科学省			
『保育所保育指針<平成 29 年告示>』	厚生労働省			
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成 29 年告示>』	内閣府、厚生労働省、文部科学省			
演習保育内容人間関係	田代和美・松村正幸 編著	建帛社		
適宜資料を配布する。 イメージしやすいように視聴覚教材を多用する。 Classroom を活用し、個々の対応を充実させます。ワークシートの提出後には受講者一人ひとりにコメントを投稿しますので確認してください。				
参考書	田代和美・榎本眞実（2019） 演習保育内容人間関係-基礎的事項の理解と指導法 建帛社 視聴覚教材・DVD『3年間の保育記録』岩波映像株式会社、『子どもの道徳性の発達』株式会社新宿スタジオ他			
成績評価				
評価方法				割合(%)
ワークシート				70
レポート				30
学習到達目標	1. 領域「人間関係」のねらい・内容、乳幼児期の人間関係の発達について理解する。 2. 乳幼児期の「人間関係」の発達を育む人的環境としての保育者の援助について各年齢の発達の特徴と関連付けて説明できる。 3. 領域「人間関係」の理論や知識、具体的な事例をもとに実際の保育現場での指導につながる視点を習得する。			
先修条件				
実務経験	実務経験有：幼稚園教諭、保育士としての保育実務経験、幼稚園、小学校のスクールカウンセラーとして子どもや保護者を対象とした心理臨床経験を有している。現在福島県スクールカウンセラーとして小学校等で心理臨床を行っている。これらの経験をもとに、受講者の興味関心に沿って教授する。			
その他				